

平成 23 年度草の根・人間の安全保障無償資金協力

「モツェ・ワ・バディリ職業訓練校コンピュータールーム建設計画」引渡式の実施



11月23日、オツツェ村（首都ハボロネから約40Km）キャンプヒルコミュニティ内にて、小林大使、モレフィ運輸通信省大臣出席の下、23年度草の根・人間の安全保障無償資金協力案件の引渡式がボツワナ運輸通信省と合同で開催されました。

キャンプヒルコミュニティ財団に属する組織である「モツェ・ワ・バディリ」は、身体的及び精神的障害を持った成人

に対し、職業訓練を提供している団体で、本プロジェクトでは、同施設で訓練を受けている障害者約120名がICT（情報通信技術）教育が受けられるよう、コンピュータールーム建設を行いました。



日本政府とボツワナ政府の協力により実現したこのプロジェクトは、日本政府によりコンピュータールーム建設費として約490万円が、またボツワナ運輸通信省よりコンピューター20台及びその他IT機器が供与されました。

今回の支援により、ICT技術を取得した生徒たちの就業機会及び社会参加の場の拡大が期待されます。